

この矢印の方向に裏向きに入れて下さい。

秘密指定解除
情報公開室

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は検閲班 (TEL 2171, 2174) に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL 2172) に連絡ありたい。

大政事外外儀官
務務典房
次次
臣官官審審長長

博公外査
代表使研審

総総察人電在儀警
括書対文会厚情オ

調企長 審企情折調

領移長 参一二旅査移

長 審地中東ア
二難
東対
参北一西

米長 審北北保
二

口南長 審一二

政長 審西ソ洋
西
二東

近ア長 審一二アア
二

経次 経国資漁
経国資博

審総 審海

経協長 審政技一開
技
参国二二理

条長 審条協規

国長 審企軍專
参政経

科審 科原

情長 審道内文
二文
参ア外二

電信写

Q36RA

総番号 R037701

主管

年 月 25日 01時 10分 中 国 発 亜 中
59年 03月 25日 02時 28分 本 省 着

外務大臣殿 鹿取大使

総理訪中 (外相会談・対ソ関係)

第1342号 極秘 大至急 Q36RA

往電第1339号別電3

1. 日ソ関係について、安倍大臣より、日ソ関係は引続き厳しい局面にあり、ソ連は、北方領土の準備強化についての日本の抗議を無視しており、日ソ外相会談が先般実現したが双方の立場を述べあつたに止まり、大きな前進はなかつたものの対話の途はとぎすべきではないと考えている旨述べられるとともに、さらに次の通り述べられた。

(1) 外相会談において、順番としてグロムイコ外相の訪日を主張したが、先方より、条件が整わない旨の返事があつた。日ソの最大の問題は、領土問題であり、このため平和条約も出来ていないが、自分 (大臣) より、「グ」外相に対して同じテーブルで話しあうことを提しようとしたところ、先方より領土問題に関するソ連の方針は変わらない旨述べ、日本の要請を一顧だにしないし勢を見せた。このような状況の続く限り、真の日ソ改善は無いと思う。

(2) このような基本的対立はあるものの、ソ連は日本のりん国であり、関係改善の努力は行つていきたいと考えており、対話は進めるということについては「グ」との

外務省

03月25日02時33分

この矢印の方向に裏向きに入れて下さい。

秘密指定解除
情報公開室

極秘

- 注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の内容に関する照会、要望等は検閲班 (TEL 2171, 2174) に。
 3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL 2172) に連絡ありたい。

電信写

間で合意をみた。今月12、13日には、中島外務審議官が参加して日ソ高級事務レベル会議が行われ、基本的な対立はそのままであつたが、2国間の問題を議論することが出来た。

(3) ソ連には、日本との経済協力に対する期待があり、最小限の交流もあるが、き然としてソ連のアフガニスタン侵入の状況が続き、日本は西側諸国とともに経済制裁を行つており、このような情勢に根本的変化のない以上、いつきよに日ソの経済交流の拡大が行われることは困難である。今後は、世界情勢をふまえ、西側と協議しながら、政経不可分、ケース・バイ・ケースで行くこととしたい。

2. また、中ソ関係については、ゴ外交部長より、次の通り述べた。

(1) 第4回中ソ協議は先日閉まくし、昨日、セン・キシン副部長とグロムイコ外相が会談したが、今次協議の特徴は、次の2点である。

(イ) 経済技術協力、貿易その他の2国間関係について、ソ連側は、積極的態度を示し、協力の拡大を望むことを表明した。

(ロ) いわゆる3つの障害について、ソ連は全然譲歩の意志がなく、討議をさけた。

「ソ連側は、1979年の文書作成の提案を再び持ち出し、(i) 相互信頼醸成措置、(ii) 両国関係の準則ないし規則に関する文書作成を提案越したが、中国側は、これを拒否した。」(注: 「」部分は、中国側の要求により、対外的に公表しないこととなつた。) 即ち、中国側は、3つの障害が除かれない限り、中国に対するソ連のきよういが存在することが明らかであり、両国関係の真の正常化は実現しない旨述べた。ただし、ソ連との経済技術協力、貿易を適当に発展させることには反対していない。

この矢印の方向に裏向きに入れて下さい。

秘密指定解除
情報公開室

極秘

- 注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の内容に関する照会、要望等は検閲班（TEL 2171, 2174）に。
 3. 本電の主管変更は記帳班（TEL 2172）に連絡ありたい。

電信写

(2) 5月にはアルヒポフ第1副首相が訪中するが、そのときには主として、経済技術協力について意見交換を行うこととなるだろう。会談が順調にいけば、経済技術協力と貿易にいくらかの増加があるものと思う。しかし、中国は、3つの障害の問題に対する態度については、決して譲歩することはない、この問題はアルヒポフに対しても述べることとしている。

(3) 現在、チエルネンコは、国内関係の事務に多ほうであり、ソ連の対外拡張・は権主義の政策は暫らく変化しないと思われる。従つて、中ソ関係も、短期的には、大きな変化はあり得ない。

(4) 中島外番とカピッツアの会談状況の通報を感謝する。「カ」の話は事実にあうものではなく、わざと中ソ関係はうまく進んでいるような印象を与えているところがあり、これを信じないでほしい、中ソ関係の本当の正常化の実現のためには、前述のことが確保されなければならない。中ソ関係がなかなかうまくいかぬ主たる原因は、ソ連が対外的には権主義をとっているからである。(了)